



これだけは 知っておきたい

# 感染症の 基礎知識と予防対策

相模原市 保健所 疾病対策課  
感染症対策班

# 今日のメニュー

- **講義 「感染症の基礎知識」**
  - 感染症の基本 ● 嘔吐物処理 ● 正しい手洗い
- **DVD 「事例に学ぶ 感染症まん延のしくみ」**
  - DVD観賞 ● グループワーク ● 正しい予防対策
- **演習 「感染源（嘔吐物など）の処理方法」**
- **質疑応答**
- **アンケート記入**

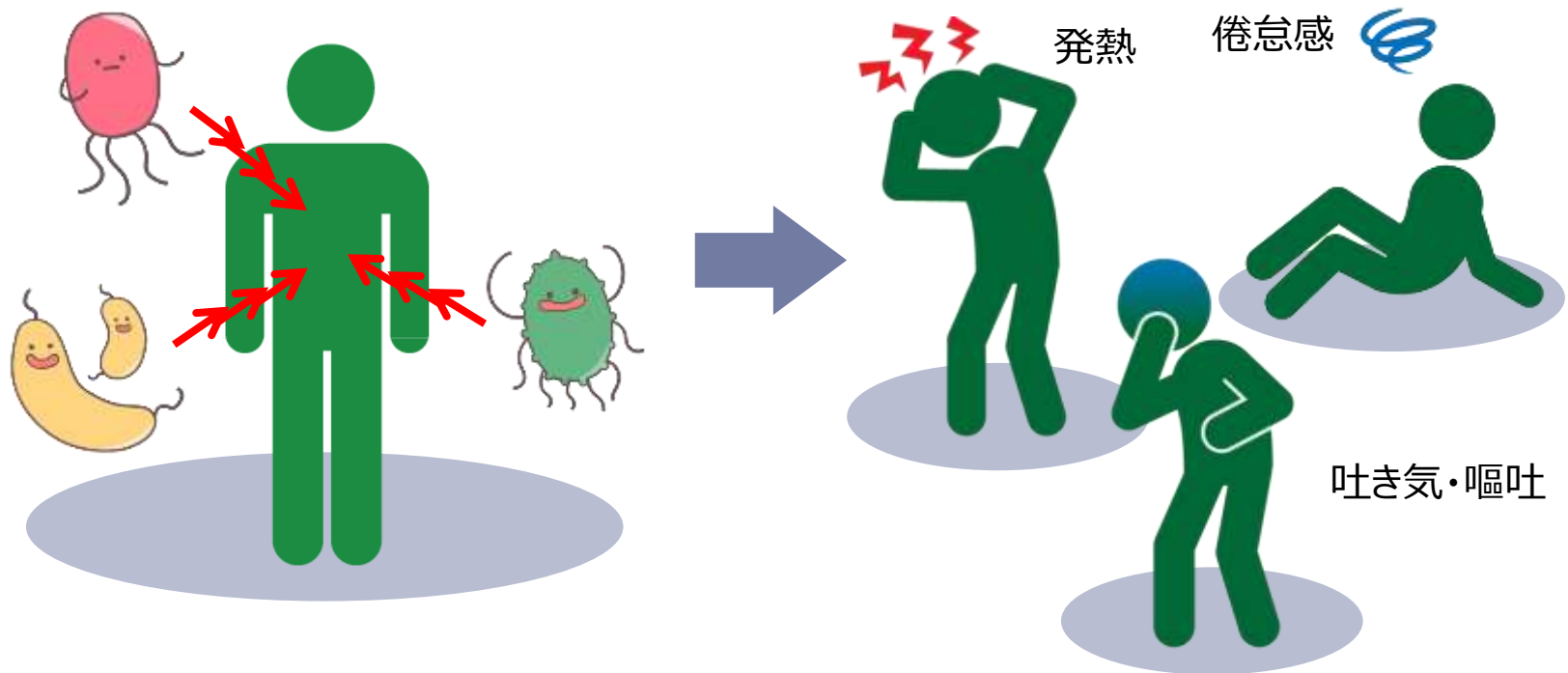
# 【講義】 感染症の基礎知識



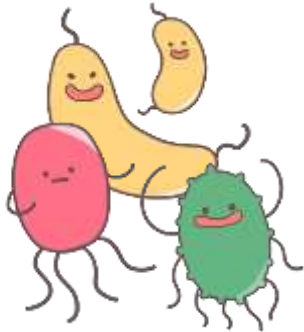
相模原市マスコットキャラクター  
さがみん

# 感染症って なに？

細菌やウイルスなどの病原体が  
体の中に入り込んで増えることで  
さまざまな症状を引き起こす病気のこと



# 感染成立にはこれが必要！



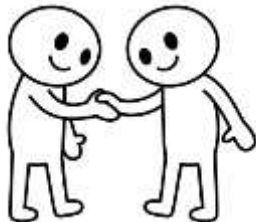
## 【感染源】

ウイルスや細菌をもつ人や物  
例：患者や保菌者、食品など



## 【宿主】

ウイルスや細菌が増殖できる場所  
例：抵抗力が弱い人など



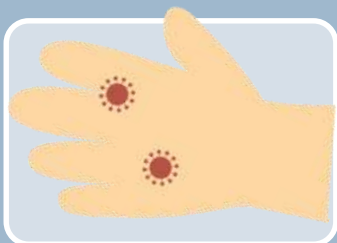
## 【感染経路】

ウイルスや細菌を体内に入れる方法  
例：接触、飛まつ、経口など

3つ  
そろって

感染成立！

# 感染経路の種類



## 接触・経口感染

病原体と接触すること

例：ノロウイルス・病原性大腸菌・流行性角結膜炎



## 飛まつ感染

咳やくしゃみによって病原体を含んだ唾液などが飛び散り、これを吸い込むこと

例：インフルエンザ・風しん

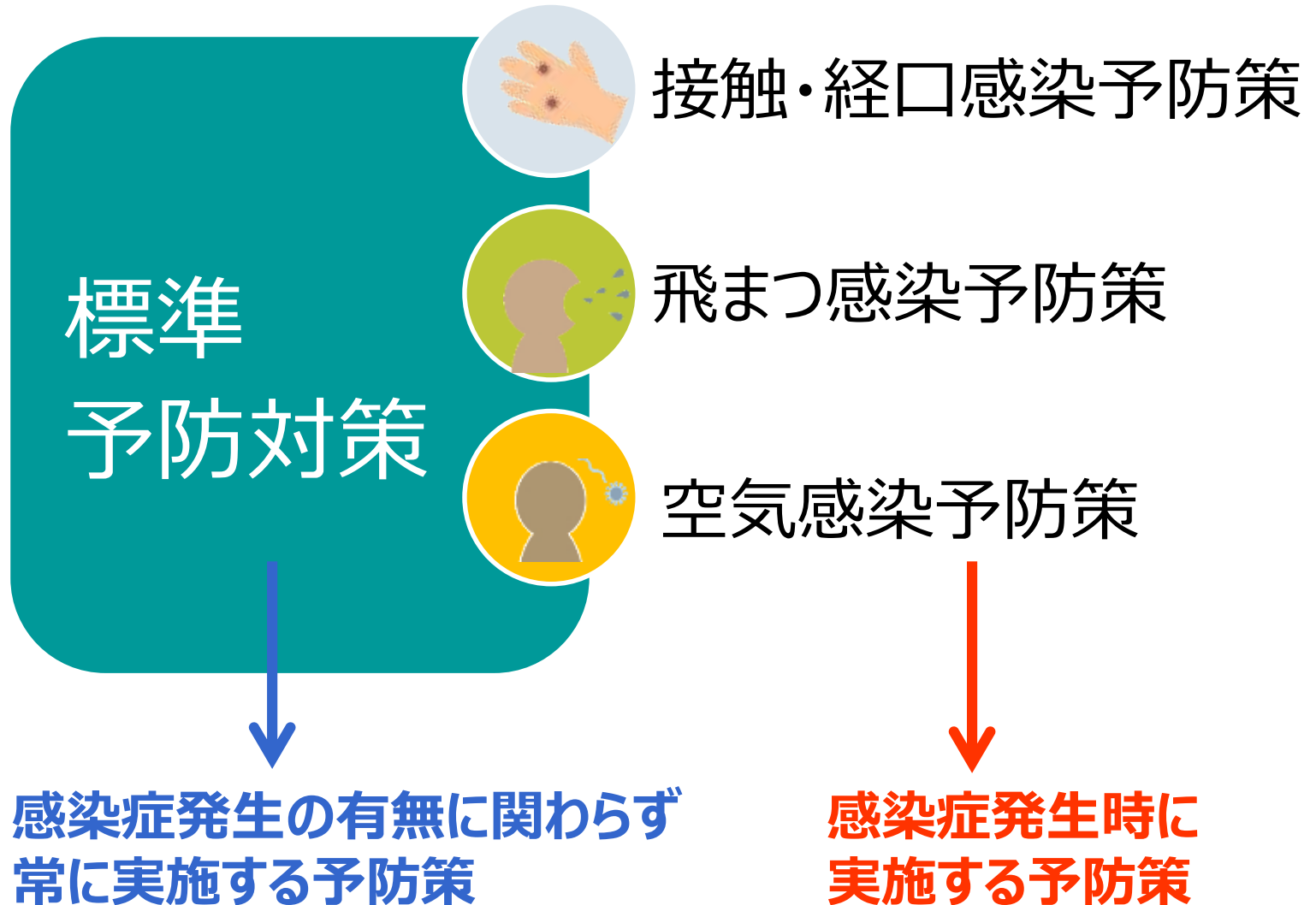


## 空気感染（飛まつ核感染）

空気中に浮遊している病原体（飛まつ核）を吸い込むこと

例：麻しん・結核・水ぼうそう

# 標準予防対策が基本



# 実際の標準予防対策

手洗い



- 感染源の処理をした後
- 手袋をはずした後
- 他の利用者に接する前

手袋



- 感染源の処理をする前
- 感染源が付着しやすいもの（衣服、タオル類、リネン類、土など）やその周辺（トイレなど）に接触する前

マスク



- 感染源の処理をする前
- 感染源が付着しやすいもの（衣服、タオル類、リネン類、土など）やその周辺（トイレなど）に接触する前



# 感染源 って、なに？

細菌やウイルスが生息しやすいもの



# 感染経路別の予防対策

感染経路	予防対策	主な病気
接触感染 経口感染	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 手洗い</li><li>➤ 手袋着用</li><li>➤ ガウン着用</li><li>➤ 複数の人が触れる場所の消毒</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ノロウイルス</li><li>• 病原性大腸菌</li><li>• 流行性角結膜炎</li><li>• 疥癬</li><li>• 水いぼ</li></ul>
飛まつ感染	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ マスク着用</li><li>➤ うがいの励行</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• インフルエンザ</li><li>• 風しん</li><li>• りんご病</li></ul>
空気感染	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 高機能マスク (N95等) 着用</li><li>➤ 十分な換気</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• はしか</li><li>• 結核</li><li>• 水ぼうそう</li></ul>

# 施設内で流行りやすい感染症

冬に流行する代表的な感染症

## 【消化器系感染症】



感染性胃腸炎

(ノロウイルス、ロタウイルスなど)

## 【呼吸器系感染症】



風邪症候群

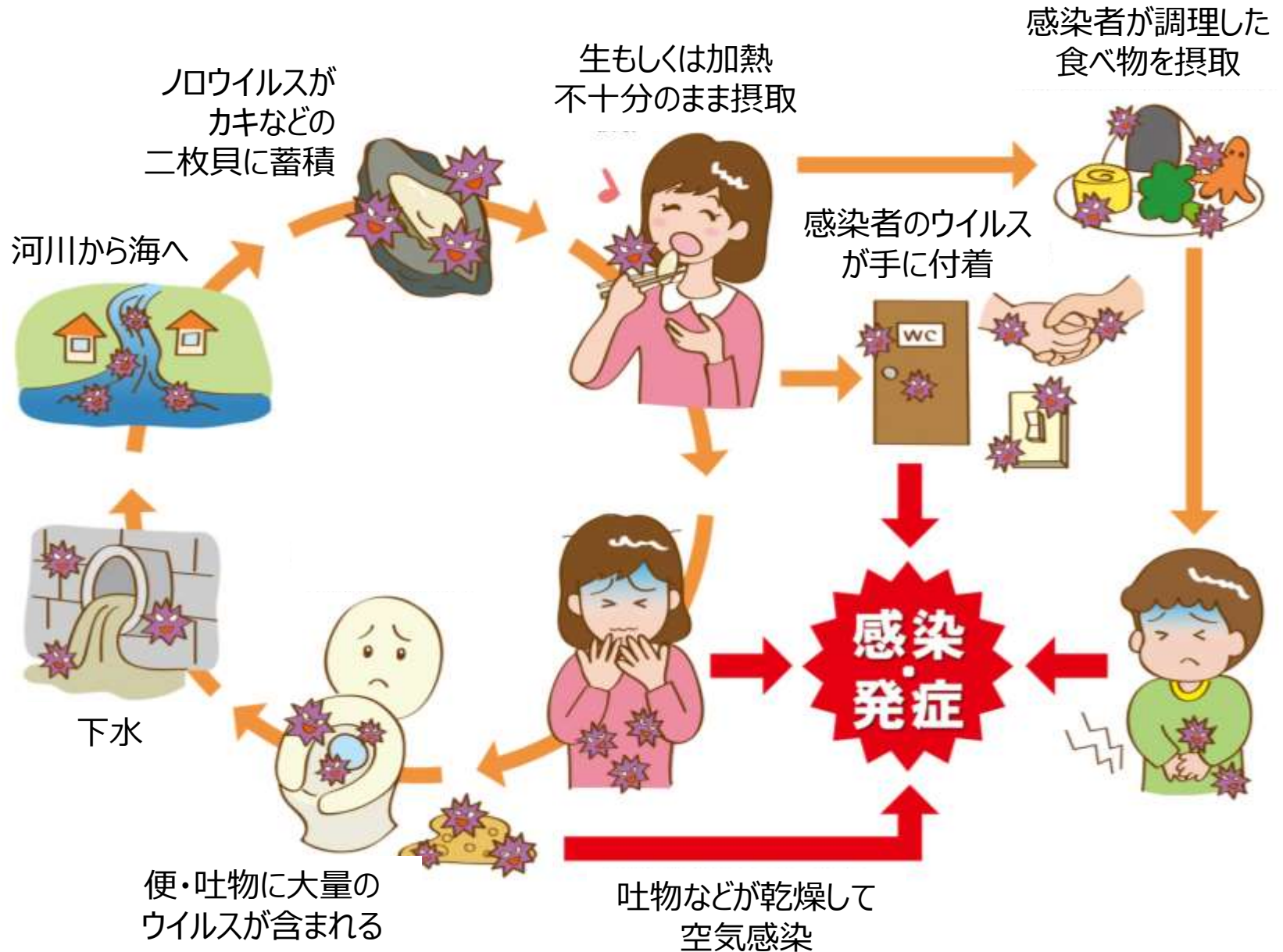
インフルエンザ

# ノロウイルス

## ノロウイルスの特徴

流行期	11～3月 特に冬場に多い
感染経路	経口感染（食品媒介）、接触感染、飛まつ感染 ※ 患者の嘔吐物を介して空気感染することも。
症状	吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱
診断方法	症状、ノロウイルスの証明
経過	感染後、24～48時間で、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱などの症状が出現。 通常は3日程度で回復。
潜伏期間	1～2日（12～48時間）
治療	対処療法（水分補給、整腸剤の内服）
ウイルス排泄	1週間～1ヶ月、ウイルスが便中に排出される

# ノロウイルスの感染経路



# ノロウイルスの消毒

## 熱

- 熱に強い特性があるため、**85°C以上**で1分以上の加熱が必要

## 次亜塩素酸ナトリウム

- 次亜塩素酸ナトリウム（**塩素系**漂白剤）での消毒
  - 感染者が直接触れた物・場所の消毒・・・0.02%
  - 感染者の嘔吐物や便が触れた物・場所の消毒・・・0.1%

# インフルエンザ

## インフルエンザウイルスの特徴

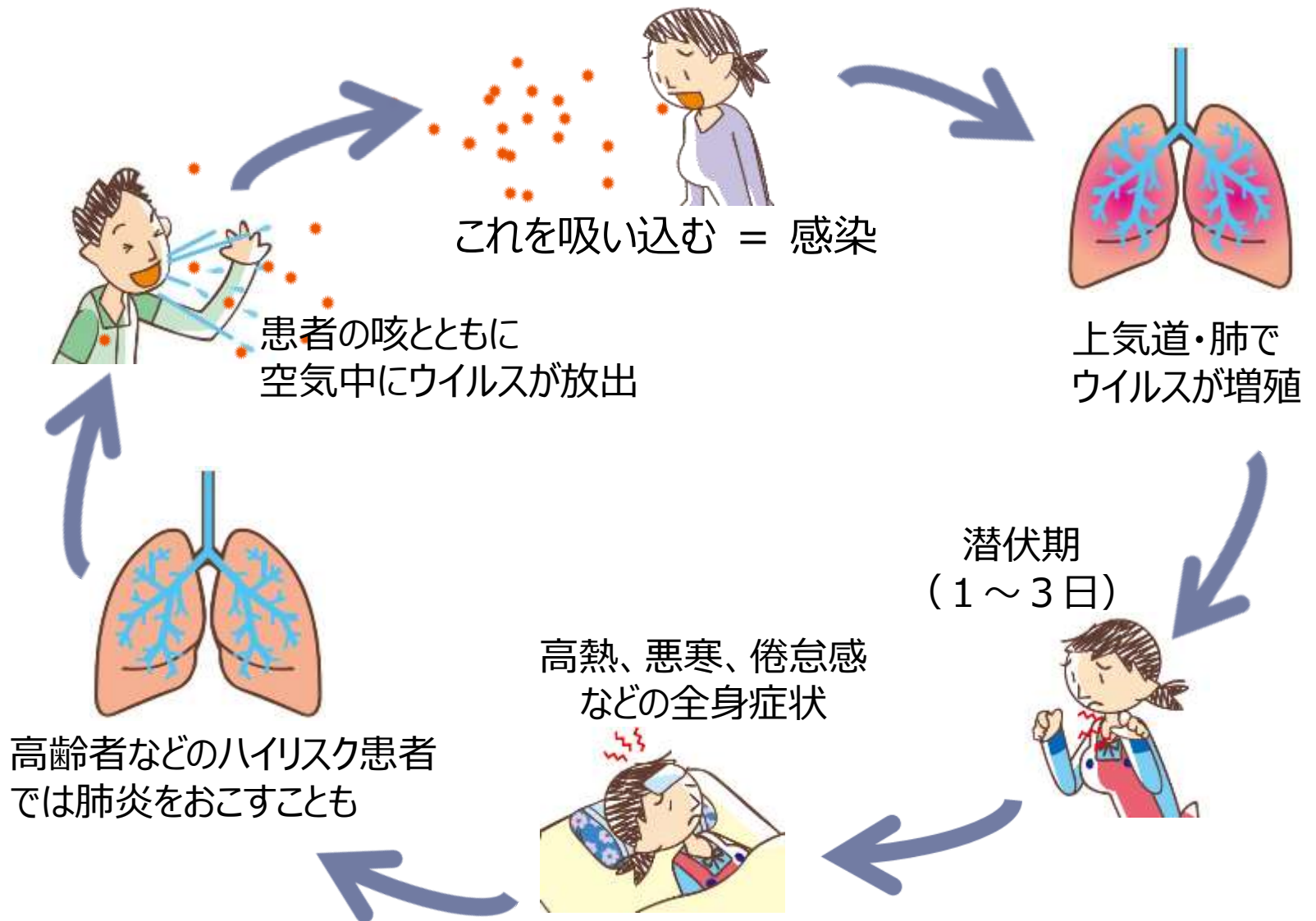
流行期	例年12～3月 ピークは1月末～2月上旬
感染経路	飛まつ感染が主体 ※感染範囲は患者の1～2m
症状	突然の発症、発熱（38度以上）、全身倦怠感
診断方法	症状、インフルエンザウイルス抗体、抗原の証明
経過	突然の発熱で始まり、高熱が3日程度続く 通常は1週間程度で軽快。
潜伏期間	1～5日（平均3日）
治療	対処療法、抗インフルエンザウイルス薬
ウイルス排泄	発症前日から発症後3～7日間、鼻や喉からウイルスが排出
予防接種	効果は、接種後2週間後～5ヶ月程度

# 風邪とインフルエンザのちがい

	インフルエンザ	風邪
主な症状	発熱、頭痛、 全身の倦怠感	咽頭痛、鼻汁 鼻閉感
熱型	38～40℃	微熱程度
頭痛 関節痛	強い	軽い
発症	急激	徐々



# インフルエンザの感染経路



# インフルエンザウイルスの消毒

## 熱

- 80°C以上で10分以上の加熱が必要

## アルコール

- 70%以上の濃度のアルコールで消毒
  - 布やペーパータオルに染み込ませて拭き、自然乾燥させる。
  - 手指は、流水と石鹼で洗い流すことも有効。その後、アルコール消毒剤を使用しても良い

# 感染症の報告基準 と 報告方法

## 報告基準

- 同一の感染症による死亡者 又は 重篤患者 が 1週間に2名以上発生
- 同一の感染症の患者が 10名以上 又は 全利用者の半数以上発生

## 報告方法

以下の書類を作成し、疾病対策課までメール送付

- **患者調査一覧表** (ラインリスト)
- **集団感染対応チェックシート**

※相模原市HP>暮らし・手続き>健康・衛生・医療>  
感染症>社会福祉施設向けの情報